



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月8日

上場会社名 株式会社天満屋ストア 上場取引所 東
 コード番号 9846 URL <https://www.tenmaya-store.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野口 重明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 國府 慎一郎 (TEL) 086-232-7265
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績(2026年3月1日～2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	14,701	2.3	563	△6.0	569	△7.3	384	47.8
2026年2月期第1四半期	14,364	0.6	599	△10.1	614	△12.3	260	△44.6
(注) 包括利益	2027年2月期第1四半期 360百万円(26.7%)		2026年2月期第1四半期 284百万円(△47.9%)					

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	33.41	—
2026年2月期第1四半期	22.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	47,170	28,033	59.3
2026年2月期	45,506	27,750	60.9
(参考) 自己資本	2027年2月期第1四半期 27,994百万円		2026年2月期 27,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	7.00	—	8.50	15.50
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年3月1日～2027年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,500	6.6	1,150	7.5	1,150	1.8	700	16.2	60.88
通期	63,000	6.3	2,300	5.3	2,300	1.3	1,400	3.7	121.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年2月期1Q	11,550,000株	2026年2月期	11,550,000株
2027年2月期1Q	41,660株	2026年2月期	61,135株
2027年2月期1Q	11,503,815株	2026年2月期1Q	11,485,701株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調を維持しました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇や円安の継続、食料品を中心とした物価上昇による個人消費への影響など、先行き不透明な状況が続いております。

こうしたなか、地域の皆様の暮らしを支え続けるべく、当社グループは販売力の強化と生産性の向上に取り組むとともに、経営基盤の強化と持続的な企業価値の向上にも努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益(売上高及び営業収入)は147億1百万円(前年同四半期比2.3%増)となりました。また、営業利益は5億63百万円(前年同四半期比6.0%減)、経常利益は5億69百万円(前年同四半期比7.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億84百万円(前年同四半期比47.8%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(小売事業)

小売事業につきましては、生鮮食品を中心に主力商品のブラッシュアップと地産地消などの特色ある品揃えを行いました。また、高付加価値商品のセブンプレミアムの展開に加え、新販促「値下げ宣言」によるEDLP(低価格戦略)の強化やオール日本スーパーマーケット協会のプライベートブランド「くらし良好」を導入し、値頃感のある商品の拡充を図ることで、生活防衛意識が高まる消費者のニーズに対応した商品供給に努めました。さらに、当社初のモール形式施設「天満屋ハッピーズ西大寺モール」(岡山市東区)の中核として、3月に「天満屋ハッピーズ西大寺店」を先行オープンいたしました。地産地消コーナーや朝市の開催などこだわりの地元食材の品揃えを強化することで、地域の食文化を広く提案する新たな発信基地としての機能を構築いたしました。また、岡山市が推進するシェアサイクル「ももちやり」ポートを店舗へ設置し、地域のお客様の利便性・回遊性向上への協力を行うほか、地元大学との連携を通じた課題解決学習や共同商品開発を実施し、地域密着型企业としての価値向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の小売事業の営業収益は126億58百万円(前年同四半期比2.1%増)、営業利益は4億65百万円(前年同四半期比9.8%減)となりました。

(小売周辺事業)

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売及び飲食事業が主なものであり、原材料価格高騰の影響を受け、厳しい経営環境が続くなか引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発の強化に取り組んでまいりました。株式会社三好野本店では、3月に創業135周年を記念して「特上祭ずし」を複製製造いたしました。また、同月に株式会社でりかエッセンでは、天満屋ハッピーズ西大寺店内に「おめで鯛焼き本舗」をオープンし、商品力強化と店舗の魅力向上を推進いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の小売周辺事業の営業収益は20億43百万円(前年同四半期比3.9%増)、営業利益は97百万円(前年同四半期比17.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ16億64百万円増加し、471億70百万円となりました。これは主に、新規出店に伴う設備投資などにより建物及び構築物が6億64百万円増加したことや、売掛金の増加などにより流動資産が8億13百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ13億80百万円増加し、191億36百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加などにより流動負債が16億40百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億83百万円増加し、280億33百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね計画どおり推移しておりますので、2026年4月13日公表の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	581,519	799,376
売掛金	1,559,018	1,964,880
商品	1,703,936	1,768,554
貯蔵品	25,208	22,890
その他	1,961,755	2,089,457
流動資産合計	5,831,437	6,645,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,898,071	10,562,929
土地	14,250,781	14,250,781
その他(純額)	5,611,963	5,848,970
有形固定資産合計	29,760,816	30,662,681
無形固定資産		
のれん	410,972	399,964
その他	2,626,288	2,660,190
無形固定資産合計	3,037,260	3,060,154
投資その他の資産		
差入保証金	1,426,947	1,398,090
敷金	3,147,513	3,129,072
その他	2,314,674	2,287,569
貸倒引当金	△12,400	△12,400
投資その他の資産合計	6,876,735	6,802,332
固定資産合計	39,674,812	40,525,168
資産合計	45,506,250	47,170,328

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,028,404	3,633,625
電子記録債務	343,293	377,252
短期借入金	3,171,252	4,001,363
未払法人税等	257,189	228,787
賞与引当金	124,780	38,265
その他	5,908,561	6,194,408
流動負債合計	12,833,481	14,473,700
固定負債		
長期借入金	1,064,796	841,508
役員株式給付引当金	37,054	38,653
退職給付に係る負債	1,107,788	1,129,567
資産除去債務	533,072	535,162
長期預り保証金	35,446	31,573
長期預り敷金	1,622,274	1,620,788
その他	521,965	465,639
固定負債合計	4,922,397	4,662,892
負債合計	17,755,878	19,136,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,750	5,347,750
利益剰余金	18,466,163	18,752,412
自己株式	△71,352	△48,622
株主資本合計	27,440,061	27,749,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	334,931	303,697
退職給付に係る調整累計額	△63,996	△58,170
その他の包括利益累計額合計	270,934	245,526
非支配株主持分	39,374	39,167
純資産合計	27,750,371	28,033,734
負債純資産合計	45,506,250	47,170,328

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	13,552,804	13,882,091
売上原価	9,672,984	10,207,508
売上総利益	3,879,820	3,674,582
営業収入	811,921	819,883
営業総利益	4,691,741	4,494,466
販売費及び一般管理費	4,092,211	3,931,068
営業利益	599,530	563,397
営業外収益		
受取利息	584	583
受取配当金	18,816	20,061
協賛金収入	1,805	1,605
その他	4,197	4,343
営業外収益合計	25,403	26,594
営業外費用		
支払利息	8,766	19,082
その他	1,810	1,540
営業外費用合計	10,576	20,622
経常利益	614,357	569,368
特別利益		
固定資産売却益	10,850	—
特別利益合計	10,850	—
特別損失		
固定資産除却損	33,096	4,444
店舗閉鎖損失	186,473	—
特別損失合計	219,569	4,444
税金等調整前四半期純利益	405,638	564,924
法人税等	144,415	179,507
四半期純利益	261,223	385,416
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,108	992
親会社株主に帰属する四半期純利益	260,114	384,423

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	261,223	385,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,357	△31,233
退職給付に係る調整額	5,570	5,825
その他の包括利益合計	22,928	△25,407
四半期包括利益	284,151	360,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	283,042	359,016
非支配株主に係る四半期包括利益	1,108	992

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

退職給付に係る会計処理における数理計算上の差異の費用処理年数については、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、当第1四半期連結会計期間の期首より費用処理年数を8年に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント(千円)		合計(千円)	調整額(千円)	四半期連結 損益計算書 計上額(千円) (注)1
	小売事業	小売周辺事業			
営業収益					
食料品	10,814,882	1,965,285	12,780,168	—	12,780,168
生活用品	208,371	—	208,371	—	208,371
衣料品	535,170	—	535,170	—	535,170
その他	259,023	2,452	261,476	—	261,476
顧客との契約から生じる収益	11,817,447	1,967,738	13,785,185	—	13,785,185
その他の収益	579,540	—	579,540	—	579,540
外部顧客への営業収益	12,396,987	1,967,738	14,364,726	—	14,364,726
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	9,766	139,413	149,179	△ 149,179	—
計	12,406,753	2,107,151	14,513,905	△ 149,179	14,364,726
セグメント利益	516,428	83,102	599,530	—	599,530

(注) 1 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント(千円)		合計(千円)	調整額(千円)	四半期連結 損益計算書 計上額(千円) (注) 1
	小売事業	小売周辺事業			
営業収益					
食料品	11,107,491	2,041,021	13,148,513	—	13,148,513
生活用品	187,927	—	187,927	—	187,927
衣料品	522,132	—	522,132	—	522,132
その他	257,728	2,610	260,339	—	260,339
顧客との契約から生じる収益	12,075,280	2,043,632	14,118,912	—	14,118,912
その他の収益	583,061	—	583,061	—	583,061
外部顧客への営業収益	12,658,342	2,043,632	14,701,974	—	14,701,974
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	23,140	173,685	196,826	△ 196,826	—
計	12,681,482	2,217,318	14,898,800	△ 196,826	14,701,974
セグメント利益	465,699	97,697	563,397	—	563,397

(注) 1 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	374,842千円	411,324千円
のれんの償却額	11,008千円	11,008千円